

A photograph of a female doctor with dark hair, wearing a white lab coat and a stethoscope, smiling warmly at a young boy. The boy is wearing a blue plaid shirt and is looking towards the doctor. The background is bright and out of focus, suggesting a clinical setting.

テルモ株式会社
会社案内

今から100年前、第一次世界大戦の影響によって
輸入が途絶えた良質な体温計を国内で生産するために、
北里柴三郎博士をはじめとした医師らが発起人となって
テルモは設立されました。

当時の設立趣意書には、こんな言葉がつづられています。
「“国民の保健は衛生思想の普及”にかかっており、
“国民の健康が国家安定の基礎”であるという見地からすれば、
これは国家的な工業ということができます。」

設立者たちの想いは、今日に至るまで連綿と受け継がれ、
「医療を通じて社会に貢献する」という
テルモの企業理念に繋がっています。

人々の健康と、それを支える医療現場のために力を尽くし、
社会の安定と発展に寄与すること。それは私たちの不変の使命です。
これからの100年も、テルモのアソシエイト^{*}は、
世界中の患者さんと医療従事者の皆様に
イノベーティブで、価値ある製品やサービスをお届けするために、
そして、より良い社会を実現するために、歩み続けます。

*テルモでは従業員を共に働く仲間という意味を込めて「アソシエイト」と呼んでいます。

企業理念

医療を通じて社会に貢献する

私たちは、医療の分野において価値ある商品とサービスを提供し、医療を支える人・受ける人双方の信頼に応え、社会に貢献します。

コアバリューズ

Respect (尊重) — 他者の尊重

私たちは、アソシエイト、お客様、そしてビジネスパートナーに対して敬意と感謝の気持ちをもって接します。多様な文化や個性を理解し、異なる意見や社会の声にも広く耳を傾け、自らの成長に繋げていきます。

Integrity (誠実) — 企業理念を胸に

私たちは、人々のいのちや健康に関わる企業のアソシエイトとして、常に、誠実に使命感をもって行動します。日々努力し、全てのステークホルダーとの間に、確かな信頼を築いていきます。

Care (ケア) — 患者さんへの想い

私たちは、自らの活動が、患者さんにつながっていることを常に忘れず行動します。医療に携わる人々を深く理解することに努め、患者さんのより良い未来の実現をともに支えていきます。

Quality (品質) — 優れた仕事へのこだわり

私たちは、安全と安心の医療を提供するために、常に現場視点で課題を捉え解決策を見つけ出します。製品品質のみならず、供給やサービスなど、全ての活動におけるクオリティーの向上を徹底的に追求します。

Creativity (創造力) — イノベーションの追求

私たちは、未来に挑戦する風土を大切にし、好奇心と情熱をもって取り組みます。医療現場のニーズを的確に捉え、価値ある製品やサービスを最適なタイミングで届けていきます。

次の100年に向け新たな一歩 価値あるソリューションを創出し 医療現場と患者さんに貢献します

テルモグループは、「医療を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、世界160カ国以上の国や地域の医療現場や患者さんに向けて、高品質な製品やソリューションをお届けしています。2021年には創立100周年を迎え、次の100年に向けて新たに歩み始めました。

世界の医療は今、「パラダイムシフト」の時を迎えています。高齢化の世界的な進展は、慢性疾患と共生する時間の増加を招き、高度化する医療と経済性の両立が社会的な課題となっています。一方で、デジタル、バイオ医薬、ゲノム医療など数々の技術進化が医療の世界にも急速かつ大きな変化を及ぼしつつあります。

このような中、テルモが医療を通じた社会貢献を実現し続けるためにも、医療の進化と患者さんのQOL向上への貢献に取り組むことが、私たちのパーパスであると考えています。また、次の10年超を見据えた5カ年成長戦略「GS26」を策定しました。これまで培った確かな品質とテクノロジーを活かし、多様な医療課題に対する新たなソリューションに挑戦する企業として、グループ一丸となって取り組みます。今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役会長

高木 俊明

代表取締役社長 CEO

佐藤 慎次郎







いのちに向き合う医療従事者のために。 いのちの謳歌を願うすべての人々のために。

一人ひとりの患者さんに最適な医療を提供し、その人らしい生活を応援したい。

これは、多くの医療従事者の皆様の願いであると同時に、私たちの願いでもあります。

今、医療のニーズは多様化し、人々の健康との向き合い方も大きく変化しています。

テルモは、3つのカンパニーをグローバルに展開し、治療効果の向上や、

患者さんの心と身体の負担低減を追求するとともに、医療現場のあらゆる課題の解決に
役立つ製品やソリューションをお届けしています。

私たちは、医療の今と未来に寄り添い、社会への貢献を実現し続けます。

テルモは3つのカン 医療の現場に 価値あるソ

心臓血管カンパニー



メディカルケアソリューションズカンパニー



血液・細胞テクノロジーカンパニー



パニーで事業を展開し ソリューションを届けます

血管内治療と心臓外科手術において、患者さんの負担軽減を追求する

人間の生命活動を支える心臓・肺、そして全身の血管の病気の治療に関わる事業を展開しています。心臓や脳の血管にカテーテルを通して治療を行う血管内治療関連デバイス、心臓外科手術中に心臓・肺の機能を代替することで生命維持を行う人工肺や人工心肺装置、病気で傷んだ血管の代わりとなる人工血管やステントグラフトを提供。各事業に共通して、より良い治療効果の実現、患者さんの身体への負担軽減およびQOL向上を目指しています。

- **Terumo Interventional Systems (TIS事業)**
- **MicroVention (ニューロバスキュラー事業)**
- **Terumo Cardiovascular (カーディオバスキュラー事業) / ハートシート事業**
- **Terumo Aortic (血管事業)**

患者さんのケアの質向上と医療の変革に貢献し、 医療に関わるすべての人に「やさしい医療」を提供する

近年、高齢化が進む中で、患者さんの増加に加え、疾病の多重化・慢性化により医療費が増大しています。また、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、感染対策への意識が高まりました。さらには、テクノロジーの進歩による、患者さん一人ひとりの個性に合わせた個別化医療へのニーズも高まっています。このような多様化・複雑化する医療現場の課題やニーズに対し、私たちは、これまで培ってきた強みを生かしたソリューションの提供をさらに充実させることで、患者さんのケアの質向上と医療の変革に貢献し、医療に関わるすべての人に「やさしい医療」を提供します。

- **Terumo Medical Care Solutions メディカルケアソリューションズカンパニー**
(ホスピタルケアソリューション事業／ライフケアソリューション事業／
ファーマシューティカルソリューション事業)

世界の輸血医療を支えるとともに 進化する血液・細胞治療に貢献する

献血で提供された血液は、血液センターで血小板、血漿、赤血球など血液製剤化され、医療機関に供給されます。テルモは、世界中の血液センターと提携し、製剤化に用いる機器や血液バッグを供給し、製剤プロセスの効率化に貢献しています。また、遠心分離技術を活用した血液成分を採取または除去するデバイスを通じ、多様な血液治療のソリューションを展開しています。近年は、進化が著しい細胞治療および遺伝子治療の分野の研究機関や製薬企業に向けて、高品質な細胞治療製品を大規模に製造するための装置やサービスを提供し、新たな治療法の創出を支援しています。

- **Terumo Blood and Cell Technologies 血液・細胞テクノロジーカンパニー**

TIS事業

心臓血管カンパニー



血管内治療の可能性を拡げ、患者さんの負担が少ない治療に寄与します

心臓や下肢の血管の病気にに対し、カテーテルを用いて治療する「バスキュラーインターベンション(血管内カテーテル治療)」や、血管内の状態を診るための「イメージング(画像診断)」、肝臓がんの化学療法「インターベンショナルオンコロジー」に関する製品を展開。治療効果の向上と、デバイスを扱うドクターが求める操作性・品質を追求するとともに、患者さんの身体にやさしい治療(低侵襲治療)の発展に貢献しています。



バスキュラーインターベンション(血管内カテーテル治療)

■ アクセスデバイス

血管にカテーテルを通すための入り口や、病変部までの道筋をつくります。

- イントロデューサーシースキット
- ガイドワイヤー ● 動脈穿刺部止血デバイス

■ 治療デバイス

ステント、コイルなどで血管内から病変部を治療します。

- 薬剤溶出型冠動脈ステント(DES)
- 末梢血管用ステント ● 血管内塞栓用コイル

■ イメージング(画像診断)

血管内壁の表面や断面を、超音波または光で観察します。

- 血管内超音波診断システム(IVUS)
- 血管内光干渉断層画像診断システム(OFDI)

インターベンショナルオンコロジー(がん治療)

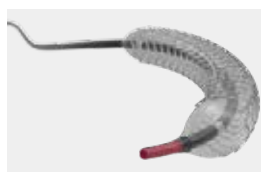
■ IVR関連デバイス

がん細胞に通じる肝動脈にカテーテルを通して化学療法を行います。

- マイクロバルーンカテーテル ● マイクロカテーテル
- 放射線放出性ビーズ ● 薬剤溶出性ビーズ



イントロデューサーシースキット



薬剤溶出型冠動脈ステント(DES)



血管内超音波診断システム(IVUS)



マイクロカテーテル

TOPICS

末梢血管治療も、がん化学療法も手首から — TRIの30年間の進化と今後

手首の血管からカテーテルを挿入して行う手技「TRI(Transradial Intervention)」が始まってから今年で30周年を迎えました。その間テルモはTRIで用いるデバイスの開発に注力し、手技の普及を支えてきました。当初心臓の血管の治療を中心に行われてきたTRIは近年、末梢血管(ペリフェラル)や、肝臓がん化学療法(インターベンショナルオンコロジー)領域にも拡大しています。そのような中、テルモは長年培った技術とノウハウを生かし、2020年に手首からの肝臓がん化学療法用カテーテルを発売しました。現在は米国や日本に続き、世界での使用拡大を目指すとともに、患者さんのさらなるQOL向上と医療経済性への貢献を目指しています。



ニューロバスキュラー事業

心臓血管カンパニー



脳血管疾患に対する血管内治療に独自のテクノロジーで革新を起こします

脳の血管の詰まりや瘤(脳動脈瘤)の破裂などにより血液の流れが阻害され、脳細胞が障害を受ける病態、いわゆる「脳卒中」に対するカテーテル治療製品を、米国子会社マイクロベンション社との連携で展開しています。脳動脈瘤や脳梗塞に対する治療デバイス、脳動静脈奇形に対応する液体塞栓材など、症例に最適な素材や設計の技術を活かし、革新的なデバイスを創出することで、患者さんの負担が少ない脳血管治療の可能性を広げます。



■ 脳動脈瘤治療用デバイス

脳動脈にできた瘤の破裂を防ぐため、瘤の内部に詰め物をする、瘤の入り口を塞ぐなどにより血流を遮断します。

- 脳動脈瘤塞栓用コイル
- 袋状塞栓デバイス
- 血流変変スtent

■ 血流遮断デバイス

奇形など出血リスクのある脳血管に、バルーンや液状の塞栓材を用いて、血流を遮ります。

- オクリュージョン・バルーンカテーテル
- 液体塞栓材

■ 血栓除去デバイス・頸動脈スtent

脳血管内の血栓の除去や、血管の詰まりの拡張を行います。

- 血栓吸引カテーテル
- 血栓除去デバイス
- 頸動脈スtent

■ アクセスデバイス

脳血管内の病変部までの道筋をつくります。

- マイクロカテーテル
- ガイドワイヤー



袋状塞栓デバイス



血流変変スtent



オクリュージョン・バルーンカテーテル



血栓吸引カテーテル

TOPICS

治療の可能性を広げ、術者の想いに応える技術を追求

X線透視下で数ミリ単位の病変部を治療する脳血管内治療は、病変部の位置や形状によってもその難易度が異なります。例えば、入り口が広い脳動脈瘤が血管の分岐部にできると通常の塞栓コイルでは血流の遮断がしにくい場合があります。近年テルモでは、さまざまな症例に対応して、細かな編み目で瘤の入り口を塞ぐスtentや、瘤内で袋状に拡張する形状記憶合金の塞栓デバイスなど、多様なデバイスを開発しています。また、X線画像で見やすい素材や設計を採用するなど、手技を行う医師がより高いパフォーマンスを発揮できる新たな技術を探求し、脳血管内治療を支えています。

カーディオバスキュラー事業／ハートシート事業

心臓血管カンパニー



世界初のテクノロジーで心臓病患者さんの QOL 向上に貢献します

心臓外科手術中に停止させた心臓や肺に代わって、血液を体外で循環させる人工心肺装置、血液のガス交換を担う人工肺、緊急症例の患者さんの心肺機能を補助する体外式膜型人工肺(ECMO)、心臓を停止させずに行う外科手術の進行をサポートする医療機器などを開発・販売しています。また、重症心不全患者さんの新たな治療の選択肢として期待される、世界初の再生医療等製品を展開するハートシート事業とも連携し、イノベティブな技術で心臓病患者さんの QOL 向上に貢献しています。



カーディオバスキュラー事業 (Terumo Cardiovascular)

■ 人工心肺システム

心臓外科手術の際、患者さんの心臓と肺に代わり、体外循環とガス交換を行います。

- ホローファイバー型人工肺
- 人工心肺装置
- 体外循環用血液パラメータモニタリングシステム

■ 経皮的な心肺補助システム(PCPS)/ 体外式膜型人工肺(ECMO)

急性心筋梗塞や心停止など、緊急症例の患者さんの心肺機能を補助します。

- 体外循環装置用遠心ポンプ駆動装置
- 人工心肺用回路システム
- 大腿動静脈カニューレ

■ オフポンプ冠動脈バイパス術システム

心臓を止めずに行う外科手術の進行をサポートします。

ハートシート事業

■ 再生医療等製品

重症心不全の患者さんの大腿部から筋肉組織を採取、組織内に含まれる骨格筋芽細胞を培養してシート状にし、心臓表面に移植して使用します。薬物や外科手術による回復が難しい症例への新たな治療の選択肢を提供します。



ホローファイバー型人工肺



経皮的な心肺補助システム(PCPS)/
体外式膜型人工肺(ECMO)



オフポンプ冠動脈バイパス術システム



骨格筋芽細胞シート

TOPICS

ECMOの緊急増産体制を構築し、コロナ禍に対応

新型コロナウイルス感染症に伴う重篤な呼吸不全を発症した患者さんには、体外式膜型人工肺 (ECMO) の使用が検討されます。テルモは、コロナ禍におけるECMOへの急激な需要の増加に対応するため、生産拠点のMEセンター (静岡県) に緊急の増産体制を構築しました。ECMOはシステムを構成する部品点数が多く、構造も複雑なため通常は増産に時間を要する製品です。当時はサプライヤーの皆様のご協力もあり、平常時の年間生産量を数カ月で実現することに成功しましたが、その後2022年7月現在も対応を継続しています。今後も、治療を必要とする患者さんに安定的に製品をお届けできるよう取り組みます。



ECMOの生産現場

血管事業

心臓血管カンパニー



卓越した技術のシナジーにより患者さんに最適な大動脈治療を実現します

血管事業を担うTerumo Aorticは、胸部および腹部の大動脈瘤や大動脈解離といった大動脈疾患に対する外科手術と血管内治療で用いる人工血管とステントグラフトを中心に、幅広い症例に対応する多様な製品ラインアップを展開。世界90カ国以上で200万人を超える患者さんの治療に貢献しています。また今後はデジタル技術を活用し、一人ひとりの患者さんに最適な製品の提供にも注力し、大動脈治療におけるイノベーションを追求します。



■ 人工血管

外科手術によって病的な血管を置き換える治療や、バイパスを作成する治療に用いられます。

● 胸部用人工血管 ● 腹部用人工血管

■ ステントグラフト

カテーテルによって、血管内の目的部位にバネ付きの人工血管を留置し、動脈瘤が破裂しないようにする治療に用いられます。

● 胸部用ステントグラフト ● 腹部用ステントグラフト

■ フローズンエレファントトランク

人工血管とステントグラフトを組み合わせた構造により、2段階の手術を一度で実施する治療に用いられます。

● 胸部用フローズンエレファントトランク（ハイブリッド型）



胸部用人工血管



胸部用フローズンエレファントトランク
(ハイブリッド型)



胸部用ステントグラフト



腹部用ステントグラフト

TOPICS

患者さんに最適な大動脈治療に貢献 — Terumo AorticのDX戦略

複雑な大動脈疾患治療においては、患者さんの大動脈の形状や病態に合わせて人工血管やステントグラフトなどから最適な植込みデバイスを選択し、治療が行われます。Terumo Aorticは、大動脈治療向けに広範な製品ラインアップを展開するとともに、治療を進化させるためのデジタルソリューションの開発にも注力しています。2021年に欧州で立ち上げたデジタルプラットフォームは、標準的な仕様の製品が適さない患者さん向けに、個別にデザインされた製品で行われる治療のマネジメントに貢献するものです。Terumo Aorticは、今後もDX戦略を強化し、大動脈治療に最適なソリューションの提供に取り組んでいきます。

ホスピタルケアソリューション事業

メディカルケアソリューションズカンパニー



多様な病院課題を解決するソリューションを提供し、医療の質や安全性の向上に貢献します

ホスピタルケアソリューション事業は、医療安全、院内感染対策、医療費の抑制といった医療現場の多くのニーズに対して、患者さんや医療従事者の負担軽減、使い勝手向上につながる製品開発、医療機器使用における運用サポート、医療従事者へのトレーニングプログラムなどさまざまな提案を行っています。単なる製品提供では解決し難い課題に対するソリューション提案を通じ、「治療の安全性向上」「業務の効率化」「患者さんのQOL向上」に貢献します。



■ 高機能薬剤投与システム関連製品

高機能輸液システムの普及とデジタルヘルスとの融合を進め、薬剤投与の効率化と標準化、安全性の向上を図ります。

- システム連携機能搭載輸液・シリンジポンプ / ポンプモニタリングシステム
- 未開通投与防止機構付輸液バッグ
- 閉鎖式抗がん剤投与システム (CSTD)
- 安全機構付静脈留置針 ● クローズド輸液システム

■ 腹膜透析関連製品

日常生活への負担が少ない透析療法とされる腹膜透析 (PD) において、患者さんが安心して治療を行うための製品を展開しています。

- 中性化腹膜透析液 ● 手動接続の腹膜透析液交換システム
- 無菌接合装置 ● 自動腹膜透析装置

■ 感染対策・環境整備関連製品

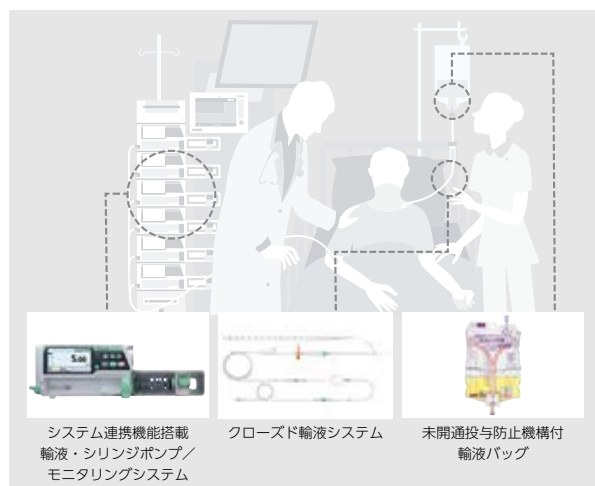
医療従事者の手指消毒などの感染対策や手術室や病室などの環境整備に貢献します。

- 手指消毒剤 ● 紫外線照射ロボット

■ 周術期・がん領域製品

疼痛管理や合併症など、周術期・がん領域の課題解決に寄与します。

- スプレー式癒着防止材 ● 鎮痛薬 ● 濃厚流動食 ● 超高濃度栄養食



TOPICS

多様な製品ラインアップや情報発信により院内の感染対策や環境整備に貢献

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染対策は医療の現場、そして私たちの日常生活において、その重要性が再認識されました。中でも、医療機関では独自の感染対策ルールの徹底や製品の適切な運用方法など、多岐にわたる課題を抱えています。そこで、テルモはメディカルケアソリューションズカンパニーを中心として、院内での感染対策や環境整備における課題の抽出から運用、フォローに至る総合的な提案を実施。紫外線照射ロボットの運用プロトコルの提案やトレーニング、皮膚赤外線体温計による発熱スクリーニング等を通じて、医療現場の課題解決を目指しています。



ライフケアソリューション事業

メディカルケアソリューションズカンパニー



健康を願うすべての人に寄り添い、それぞれの患者さんに合ったソリューションを提案します

ライフケアソリューション事業は、糖尿病をはじめとした慢性疾患を抱えながら生活している一人ひとりの患者さんにとって、個別に最適化された医療を実現するソリューションを提供しています。健康を願うすべての人に寄り添った新たな価値創出を通じて、「患者さんの予後改善」「重症化予防」そして「QOLの向上」に貢献します。



パッチ式インスリンポンプ



持続血糖測定システム



通信機能付き測定機器シリーズ



電子体温計／皮膚赤外線体温計

■ 糖尿病治療関連製品

日常的な血糖管理やインスリン投与療法において使い勝手の向上や痛みの低減などを追求した製品を展開し、患者さんのQOL向上に貢献します。

- 血糖自己測定器 ● 持続血糖測定システム
- パッチ式インスリンポンプ ● ペン型注入器用ディスポーザブル注射針

■ バイタルサイン管理関連製品

通信機能を搭載し、患者さんのバイタルサインをタイムリーかつ効率的、正確に管理します。

- 血糖測定器 ● 電子体温計 ● 電子血圧計 ● パルスオキシメータ

TOPICS

新たなテクノロジーで、糖尿病治療患者さんの笑顔を支える

テルモは1982年から約40年にわたり糖尿病領域で革新的な製品を提供し続けており、2018年に日本で唯一のパッチ式インスリンポンプを開発、2019年に米デクスコム社の持続血糖測定器の日本での販売を開始しました。そして2020年、仏Diabeloop社とインスリン自動投与と制御システム(AIDシステム)の共同開発契約を締結しました。持続血糖測定器でリアルタイムに測定した皮下のグルコース濃度に連動して、患者さんの状態に合わせたインスリン量がインスリンポンプから持続的に投与されるこのAIDシステムを通じて、糖尿病患者さんへのさらなる貢献を目指します。



インスリン自動投与と制御システムのイメージ

ファーマシューティカルソリューション事業

メディカルケアソリューションズカンパニー



独自の技術で医薬品の価値向上とドラッグデリバリーの発展に貢献します

プレフィルド（薬剤充填済み）製品で培った独自の技術を生かし、製薬企業に新たな薬剤投与デバイスを提案しています。薬剤に適した素材技術を組み合わせたデバイスの開発や、高度な製造技術を活かした医薬品と医療機器のコンビネーションプロダクトの設計・製造を行っています。治験薬の製造から商用製品の生産に至るまで、製薬企業とのアライアンスを通じて、トータルソリューションを実現するとともに、患者さんにとって必要な薬剤を、安全かつ確実にお届けしています。



■ 医薬品開発製造パートナーリング

製薬企業とのパートナーシップを通じて、薬剤充填デバイスの設計から商用製造まで一貫してサポートします。

- 自己投与プレフィルドシリンジ
- セーフティ機能付きプレフィルドシリンジ

■ 容器提供

バイオ医薬品やワクチンなどの薬剤に最適な素材をマッチングし、ユーザビリティの高いデバイスを提供します。

- 薬剤充填用シリンジ
- 皮内投与型デバイス

■ 薬剤キット用デバイス提供

製薬企業が販売する医薬品に同梱するための投与用デバイスを提供し、医療現場の安全性と効率性に貢献します。

- 薬剤キット用注射針



自己投与プレフィルドシリンジ
セーフティ機能付きプレフィルドシリンジ



薬剤充填用シリンジ



薬剤キット用注射針



皮内投与型デバイス

TOPICS

生産能力増強でグローバル展開に対応

テルモの医薬品と医療機器を組み合わせたドラッグ＆デバイス製品は、国内子会社のテルモ山口D&D 株式会社の本社工場や富士宮医薬品工場、甲府医薬品工場がその生産を担っています。薬剤充填用シリンジの素材技術や無菌充填技術を有するテルモ山口D&D 株式会社の本社工場は、欧州のEMAや米国のFDA、日本のPMDAなど各地の規制当局から薬剤充填済みシリンジの製造に関する認定を取得しています。欧州で販売中の自己免疫疾患に対するバイオシミラー（バイオ後続品）など医薬品と医療機器を組み合わせたコンビネーションプロダクトを生産しています。現在、2016年の稼働時と比べて3.5倍の生産能力を見込む増設が進められ、グローバル規模で事業の成長をけん引する重要な生産拠点として期待されています。

患者さんのいのちとより良い生活のために血液と細胞治療の可能性を追求します

血液や細胞は、私たちの生命維持に不可欠であると同時に、がんや難病とされる病気の治療をはじめ、さまざまな治療への可能性を秘めています。米国子会社テルモ BCT 社が担う血液・細胞テクノロジーカンパニーは、献血によりドナーから提供された血液を安全かつ効率的に血液製剤化するためのソリューションや、細胞治療やアフェレーシス治療に必要な、血液成分や細胞の採取・分離、細胞治療薬の製造プロセスに対するソリューションを提供し、血液センター、医療機関、製薬企業、研究機関など、幅広いお客様を支援しています。近年は、デジタルソリューションとサービスに注力し、新たな治療法の選択肢を患者さんに提供できるよう、独自の技術進歩につなげています。



原料血漿採取システム



病原体低減システム



成分採血システム



血液自動製剤システム



白血球除去フィルター付き血液バッグ



全血採血システム

■ 血漿イノベーション

希少疾患などの治療で使われる血漿分画製剤を製造するために、原料血漿を採取する技術です。ドナーの安全性かつ効率的で高品質な原料血漿供給を実現するため、研究開発とプロセス改善に取り組んでいます。

2022年3月、米国食品医薬品局（FDA）より新たに血漿採取システムの認可を取得しました。

- 原料血漿採取システム

■ 血液センターソリューション

血液センターで行われる採血と製剤化プロセスにおいて、品質と効率の向上を実現。プロセスの自動化により、血液センターが可能な限り需要に合致する成分を採血し、患者さんのもとに必要な血液製剤を提供できるように支援します。

- 成分採血システム ● 血液自動製剤システム
- 白血球除去フィルター付き血液バッグ ● 病原体低減システム
- 全血採血システム

※これらの製品の業事承認および販売状況は、国や地域により異なります。

血液・細胞テクノロジーカンパニー



■ アフェレーシス治療・細胞採取

血液や細胞の病気に対し、その病原となる血液中の不要な成分を分離・除去したり、治療に必要な成分を採取することがあります。テルモは遠心分離技術を活用して、さまざまな疾患と闘う患者さんに、新たな治療の選択肢を提供することを目指しています。

- 遠心型血液成分分離装置



遠心型血液成分分離装置



血液成分に関わる多様な疾病の治療に遠心分離技術を活用



細胞製剤用充填・仕上げシステム



細胞増殖システム



自家細胞分離・調製システム



患者さん自身の血漿成分・骨髄液
脂肪組織などを濃縮

■ 細胞治療テクノロジー

細胞の増殖から最終的な製剤化まで、細胞治療製品の製造を自動化するソリューションを提供し、治療法の開発に携わる方々とともに、最先端治療の創出とその商業化を支援します。

- 細胞増殖システム
- 細胞製剤用充填・仕上げシステム
- 無菌接合装置

■ 自家生物製剤

自家生物製剤は、患者さん自身の血漿成分や骨髄液、脂肪組織などを採取・濃縮し、調製を行い、治療に活用するものです。

独自の遠心分離技術を用いて、患者さんの細胞を処理し、濃縮骨髄液や多血小板血漿を、効率的に調製します。

- 自家細胞分離・調製システム

TOPICS

Equipment and Beyond — 機器からの発展

血液製剤や細胞治療製品といった医療リソースを患者さんとその治療に携わるお客様にいち早く、効率的に提供するために、血液・細胞テクノロジーカンパニーはテルモグループの中でもいち早くデジタルトランスフォーメーションを推進し、ソフトウェア開発やデータ解析に積極的な投資を行っています。

- **血漿イノベーション**：機器の稼働管理、装置やディスプレイキットの在庫管理、製品使用トレーニングの運営などをデジタルで実現するエコシステムを展開。
また、センターの運営業務の効率化によって、ドナーの皆様へ接する時間の充実を支援します。
- **血液センターソリューション**：お客様の管理システムと連携し、血液採取から製剤化までを最適なタイミングとプロセスで実施することで、製品品質の向上とプロセスの最適化に貢献します。
- **アフターサービス治療・細胞採取**：各種治療のプロセスや患者さん毎のペイシエントジャーニーに沿った各種レポートや分析、改善提案機能を備えたソフトウェアを提供します。
- **細胞処理**：細胞治療製品の研究現場で求められる、厳密な電子データ記録や報告書作成、プロトコル管理においてデータを集約して管理し、医薬品製造管理および品質管理基準（GMP）の順守をサポートするソフトウェアの提供を実施しています。

血液・細胞テクノロジーカンパニーのスコープは、研究開発や臨床現場まで多岐にわたります。
今では「機器」の枠を超えて（Equipment and Beyond）で差別化を実現しています。
今後もデジタルプラットフォームやデータの活用を通じて、お客様にとって使いやすく、最適なソリューションをいち早くお届けするとともに、次世代の治療のイノベーションをサポートします。

TOPICS

乳がん患者さんに新たな治療の選択肢を届ける — がん免疫療法に関する業務提携を締結

テルモ BCT 社は、2021 年に免疫療法に特化した米国のバイオテクノロジー企業である Immunicom 社と、血液成分分離装置技術を用いたがん免疫療法に関する業務提携を締結しました。がんの中でも世界で最も患者数が多い乳がんにおいて、特に治療が難しいとされる「トリプルネガティブ乳がん（TNBC）」の患者さんを対象に、テルモの血液成分分離装置と Immunicom 社が開発した吸着カラムを組み合わせることで、がん細胞が発する、腫瘍を保護するタンパク質を除去します。このタンパク質を除去することで、がんと闘う免疫システムの能力の回復が期待されています。今後、ドイツ、フランス、イタリア、スペインの 4 カ国で発売を開始します。テルモ BCT 社は、これまでも遠心分離技術とカラム・フィルターとの組み合わせにより、病気の原因になる特定成分の除去に貢献してまいりました。今回の提携により、治療領域を固形がんにも拡大し、さらに多くの患者さんに新たな治療法の選択肢を提供します。

At a Glance

テルモグループの現在 2021 年度 (2022 年 3 月期)

業績 (連結)

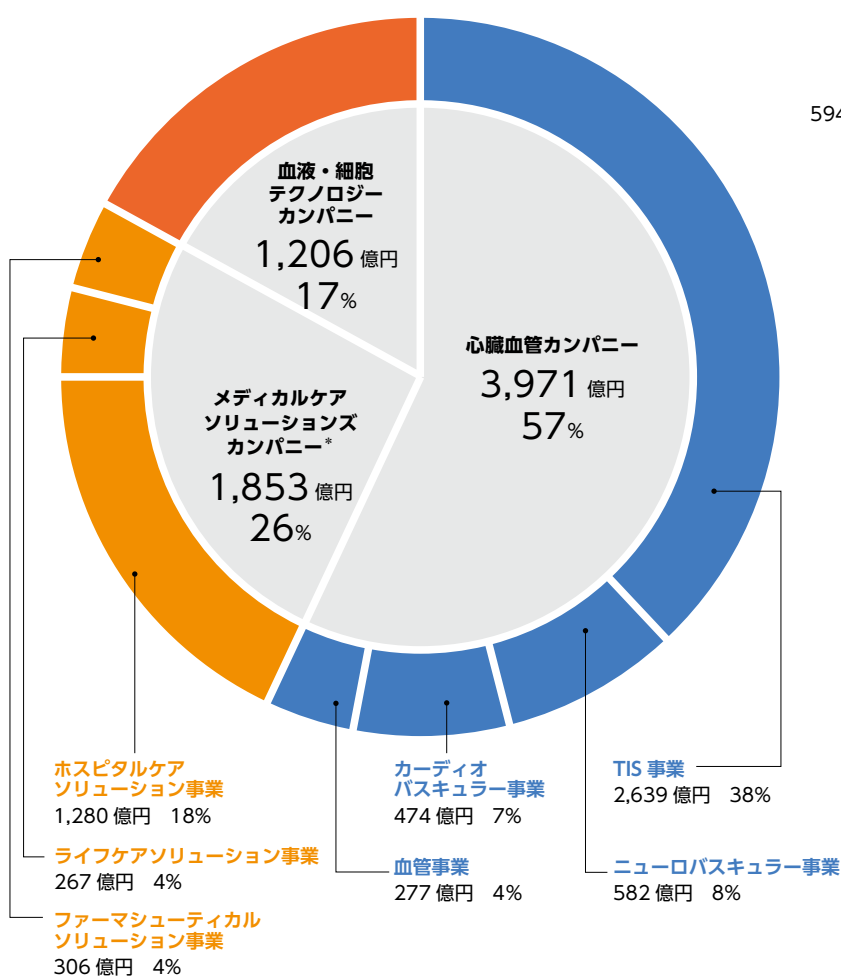
売上収益

7,033 億円

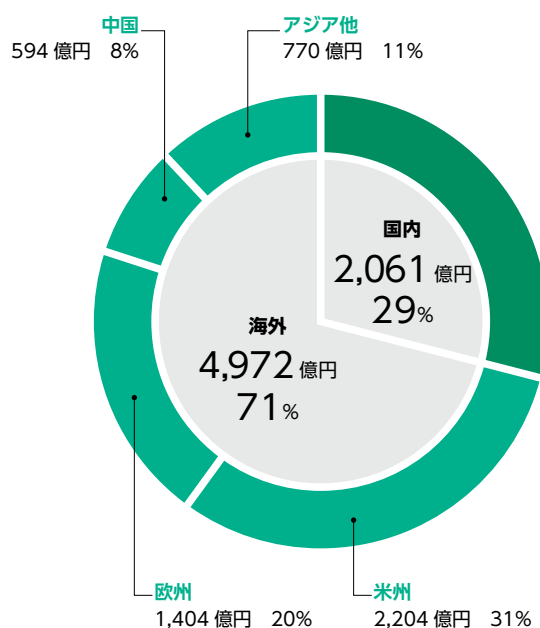
調整後営業利益

1,344 億円

事業別売上収益



地域別売上収益



* 2022年4月付の組織変更に伴い、ホスピタルカンパニーはメディカルケアソリューションズカンパニーに、ホスピタルシステム事業はホスピタルケアソリューション事業とライフケアソリューション事業に、また、アライアンス事業はファーマシューティカルソリューション事業に名称変更しています。

構成比率は小数点以下を四捨五入しており、合計が 100% とならない場合があります。

事業 / 組織の規模

販売国・地域数

160 以上

連結子会社数

102 社

製品品種数

50,000 点



生産拠点数

日本 8 拠点

海外 24 拠点

研究開発拠点数

日本 6 拠点

海外 16 拠点



人財

アソシエイト(社員)数

テルモグループ

 **28,294**名

テルモ株式会社

 **5,377**名

女性アソシエイト比率^{*1}

 **18.1** %

女性管理職人数 / 比率^{*2}

 **73**名 / **8.4** %

男性育児休業取得人数 / 取得率^{*3}

 **84**名 / **54.9** %

*1、*2、*3 対象：テルモ株式会社

主な選定・認定



テルモは、FTSE Russell が作成する ESG 投資指数[FTSE4Good Index Series] [FTSE Blossom Japan Index] [FTSE Blossom Japan Sector Relative Index] の構成銘柄に選定されています。
(2022年3月末時点)



テルモグループの2030年度の温室効果ガス排出量削減目標は、SBT イニシアチブより、「2℃を十分に下回る水準」として認定を取得しています。^{*1}

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

テルモは、ESG(環境、社会、ガバナンス)投資の主要指数である「MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数^{*2}」の構成銘柄に選定されています。
(2022年3月末時点)



テルモは、「ECMOの研究開発と実用化および普及」において、NPO 法人日本 ECMOnet 理事長の竹田晋浩先生とともに、「第5回日本医療研究開発大賞 内閣総理大臣賞」を受賞しました。

*1 2021年11月に目標を「1.5℃水準」に引き上げ、「1.5℃水準」での認定を申請中。

*2 テルモの MSCI インデックスへの組み入れや、MSCI のロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCI またはその関係会社によるテルモへの後援、宣伝、販売促進を意味するものではありません。MSCI インデックスは、MSCI の独占的財産であり、その名称とロゴは、MSCI およびその関係会社が所有する商標またはサービスマークです。

会社概要

商 号	テルモ株式会社
東京オフィス	〒163-1450 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー
幡ヶ谷オフィス(本社)	〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 2-44-1
設 立	1921年9月17日
資 本 金	387億円
代 表	代表取締役会長 高木 俊明 代表取締役社長 CEO 佐藤 慎次郎
事 業 内 容	医療機器・医薬品の製造販売
株 式	東証プライム市場上場



www.terumo.co.jp



@terumo_jp

Our Associates

アソシエイトの活躍

お互いの尊重と信頼で、新たな価値創造と高品質な製品提供を実現

中国／テルモ医療産品杭州有限公司 人工肺の生産工程責任者

私は、工程の生産性向上や品質改善、作業者が働きやすい環境作りなどを通じて、お客様から信頼される高品質な製品の提供に取り組んでいます。生産の現場は、共に働くアソシエイトみんなの協力なくしては成立しません。そのためにも、お互いの尊重が何よりも大切だと私は考えます。お互いの声に耳を傾け、尊重し合うことで、仕事に対するモチベーションの向上や新たな価値の創造を促し、日々の生産活動に活かされます。そして最終的には、お客様にお届けする製品の品質へと反映されていきます。



アソシエイトの声に耳を傾け、尊重し合うチームが強い「現場」をつくる

製品の適正な情報提供を通じて、 医療安全に貢献する

日本／テルモ株式会社 安全情報管理部 医薬品チームリーダー

医薬品や医療機器は、医療上のリスクとベネフィットのバランスの上で使用されるものです。医療従事者には製品の適正な使用が常に求められます。私の仕事は、製品の品質・有効性・安全性を図るために、医薬品の有害事象や医療機器の不具合の情報を日々収集・検討し、製品の適正使用に関する情報を分かりやすく医療現場に伝えることです。医療安全や製品改良、最終的には患者さんの安全・安心に貢献する、やりがいのある仕事です。



数多くのドキュメントを扱う。現在は部門を挙げて添付文書の電子化に取り組む





患者さんに最適なデザインや長期の安全性を実現する製品開発に取り組む

患者さんへの想いを胸に、 より良い製品開発に取り組む

英国／Terumo Aortic 人工血管の研究開発アソシエイト

私たちのチームは、新製品の販売承認を得るために規制当局に申請を行う際に必要なエビデンスに使用される、さまざまな製品の耐久性試験を設計・実施しています。また、大学と連携して、デバイスの性能を患者さんにとって最適なものにするために、新素材の探索や、Cellular Microenvironment（素材に対するタンパク質や細胞挙動の工学的制御）に関する研究などにも取り組んでいます。私が取り組む研究開発の仕事は、テルモのコアバリューズの一つである「Creativity（創造力）- イノベーションの追求」と非常に自然な形で連携していると思います。

「誰かの幸せのために働く」文化に共感。 お客様のベストを考えて行動する

コロンビア／テルモコロンビアンデス S.A.S.
TIS 事業 マーケティング担当アソシエイト

COVID-19 はテルモの企業理念と文化を再認識するきっかけとなりました。当時は直接会えないお客様に何ができるか？テルモコロンビアで働く異なる職種の仲間たちと共に、懸命にアイデアを出し合い、それらを次々に実行に移していきました。病院に行けない患者さんへの情報提供や、医療者の心のケアを目指したオンラインイベントの開催など…。この経験を通じて、私はテルモには「他者を尊重し、多くの人の幸せのために働く」文化を肌で感じる事が出来ました。これは私の信念とも重なっています。今後もこの気持ちを大切に仕事をしていきたいと思います。



医療従事者に向けて手首からのカテーテル治療 TRI のデモンストレーションを実施

Our Activities

テルモグループの活動 2021 年度 (2022 年 3 月期)

多様な人財の活躍

アソシエイトと企業の成長を共に実現

現在、医療は世界中で大きな変革を迎えています。テルモが今後も医療の課題に応えていくためには、新しい事業戦略の実現を担う人財が欠かせません。そのためにも、テルモはアソシエイト一人ひとりの成長支援を重視しています。テルモグループ全体の取り組みとして、次世代経営層の育成を目的とした選抜育成プログラムや、若手アソシエイトを対象に、地域や職種の垣根を越えたネットワークを形成し、共に学び、活躍することを支援するプログラムを実施しています。さらに、新しいことへの挑戦や、常に学び成長することを志向する“Growth Mindset”の取り組みもグローバルで推進するなど、テルモは予測不能な未来に、アソシエイトが企業と共に成長し続ける組織づくりを目指しています。



Growth Mindset に関するセッションをリモートと対面のハイブリッドで実施



選抜育成プログラムの参加者でテルモの未来を描いたイメージを出し合う

一人ひとりが自分らしく活躍できる環境づくりを目指して

グローバルにビジネスを展開するテルモでは、インクルーシブな文化・風土を醸成し、企業活動に根付かせることを目指して、グループ共通の「DE&I フィロソフィー・ガイディングプリンシプル」を制定しています。アソシエイトがお互いを認め合い、自分らしく活躍できる環境づくりを目標に、2022 年 3 月には「テルモ DE&I Week」と称して、経営層からのメッセージ配信やパネルディスカッションなど、世界各地で社内イベントを実施し、各地域の特性に応じた DE&I 推進に取り組んでいます。

世界中の多様なアソシエイトが活躍し、その可能性を最大限に発揮できるような環境をつくっていくことで、アソシエイトと企業の持続的成長を実現してまいります。



テルモ DE&I Week における社内パネルディスカッションの様子



さまざまな色合いが重なりあった DE&I の文字は、アソシエイトに見立てている。個々の違いを尊重し、その状況に応じた適切なリソースを提供することで、それぞれが最大限に能力を発揮し、TERUMO を支え、さらに成長していく様子を表現。テルモ DE&I ロゴ (テルモグループ社内でのみ使用)

環境への取り組み

環境負荷の低減に努め、2040 年カーボンニュートラルを目指す

テルモは、事業活動に伴う温室効果ガス排出量（スコープ1+2）の削減を重要な取り組みとして捉え、2040 年度までにカーボンニュートラル*の実現を目指します。その取り組みの一つとして、テルモベトナム工場では、2022 年度中にメガソーラーパネルを導入します。年間約 2,700t の CO₂ を削減し、工場全体の消費電力の 14% を再生可能エネルギーでまかなう予定です。その他、廃棄物の削減や資源の有効活用、環境にやさしい製品開発や生物多様性保全など、多岐にわたる施策を通じてグループ全体で環境負荷の低減に努めていきます。

*カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることです



テルモベトナム工場（ハノイ市）



生物多様性保全を目指した「テルモ富士山森づくり」活動の様子

地域社会への取り組み

血液を待っている患者さんの命に寄り添う

新型コロナウイルス感染症の影響で献血に協力する人が減少し、世界的な課題になりました。テルモでは、血液・細胞テクノロジーカンパニーが中心となり、グローバルでの社内献血推進プログラム「From the Heart」を実施しています。各地域で社内献血イベントの運営や啓発活動を通じて安全で持続可能な血液供給への貢献を目指しています。テルモヨーロッパ社では、血液の大切さを伝えるストーリーの発信や、献血センターで撮影した写真を投稿したアソシエイトにディナーチケットをプレゼントするなど、ユニークな取り組みを実施しました。より多くの患者さんを救うため、アソシエイトの家族や友人にも協力の輪を広げて活動しています。



「From The Heart」のロゴとテルモヨーロッパ社で実施された献血活動の様子

医療課題の解決

医療従事者向けトレーニングを世界中に提供し続ける

医療機器は正しく使用されることで、初めてその効果を十分に発揮します。しかし、国や地域によっては医療トレーニングを受ける機会が少なく、十分な知識・技能や経験を持つ医師や技士が不足することが課題となっています。そこで、テルモは世界中に医療従事者向けトレーニングを提供できる体制の構築に取り組んでいます。日本では 2002 年に、手術室やカテーテル室など病院と同等の医療環境を有する「テルモメディカルプラネックス」を開設、国内外の医師や看護師、臨床工学技士などにトレーニングの機会を提供してきました。今後も世界中の医療ニーズに応じたプログラムを提供し続けます。



トレーニング普及を担うアソシエイト

テルモ100年の歩み

テルモは創業以来100年にわたり常に前進を続け、
患者さんと医療現場の近くで、新しい価値を生み出しています。

患者さんにやさしい



患者さんの 身体的負担の軽減

1982年

世界初多孔質ホローファイバー型人工肺を発売

1985年

血管造影用カテーテルシステムを発売し、
血管内カテーテル診断・治療分野に進出



国民衛生の基盤づくりを支援



北里柴三郎博士と設立趣意書
写真提供：学校法人北里研究所

1921

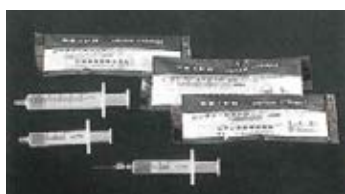
1960

1970

1980

1990

医療現場の感染対策



1963年

日本初の単回使用の注射筒を発売

1969年

日本初の血液バッグを発売

1973年

血液バッグ開発で蓄積した技術をもとに、
日本初のソフトバッグ入り輸液剤を発売



環境に配慮した製品づくり



1983年

病院用予測式電子体温計を発売

1985年

水銀体温計の生産を終了

医療現場に安全・



1999年

プレフィルドシリンジ
(薬剤充填済み注射器)を発売

テルモグループの歩み

■ 1921年

北里柴三郎博士をはじめとする医師らが
発起人となり、良質な体温計の国産化を目指して
赤線検温器株式会社を設立

■ 1936年

仁丹体温計株式会社に商号を変更

■ 1971年

米国と欧州(ベルギー)に現地法人を設立

■ 1974年

テルモ株式会社に商号を変更

■ 1989年

研究開発施設「湘南センター」を開設

新たな治療の可能性を提供

治療の追求

1988年

腹膜透析システムを発売

1993年

血糖測定システムを発売

2005年

世界で最も細いインスリン等投与用注射針を発売

2006年

脳血管内塞栓用コイルを発売

2008年

薬剤溶出型冠動脈ステントを欧州で発売

2018年

日本初のパッチ式インスリンポンプを発売



2012年

フローズンエレファントランクを欧州で発売

2016年

世界初の重症心不全治療用の再生医療等製品として、ヒト(自己)骨格筋由来細胞シートを発売



2016年

世界初の袋状塞栓デバイスを脳動脈瘤治療ラインアップに追加



2019年

充填・仕上げシステムを発売し細胞治療分野を強化

2020年

テルモBCT社が新たに「血液・細胞テクノロジーカンパニー」として、細胞治療分野を強化



2000

2010

2021

次の100年へ

安心を提供

2000年

クローズド輸液システムを発売

2012年

未開通投与防止機構付輸液バッグを展開



治療技術の発展に貢献



1990年代半ば～

TRI(手首の動脈を介したカテーテル治療)を支援

2002年

「医療技術の創造と普及」を目的とする施設として、テルモメディカルプラネックスを建設

安全で効率的な医療のプラットフォームを提供



2012年

院内ITと連携可能な輸液投与システムを発売

2013年

通信機能付き測定機器シリーズを発売



■ **1999年**

米国3M社から人工心肺事業を譲受し、テルモカーディオバスキュラーシステムズ社を設立

■ **2002年**

人工血管の製造販売会社・英国バスケテック社がテルモグループに加入

■ **2006年**

脳血管内治療デバイスの製造販売会社・米国マイクロベンション社がテルモグループに加入

■ **2011年**

血液・細胞テクノロジー分野の世界的企業・米国カリディアBCT社(現テルモBCT社)がテルモグループに加入

■ **2017年**

ステントグラフトの製造販売会社・米国バルトンメディカル社がテルモグループに加入

■ **2019年**

企業理念体系を整備全アソシエイト共通の価値観「コアバリューズ」を新設

■ **2021年**

創立100周年

■ **2022年**

新カンパニーブランド「Terumo Medical Care Solutions」を発表



テルモ株式会社

東京オフィス

〒163-1450 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー
www.terumo.co.jp



記載されている社名、各種名称は、テルモ株式会社および各社の商標または登録商標です。

© テルモ株式会社 2022年7月 22T205